

紙袋をご使用になるお客様へ

紙袋メーカーからのお願い

全国クラフト紙袋工業組合

最内層にポリエチレン内袋を備えた紙袋を自動包装機でご使用になる場合は、特に層間充填（ポリエチレン内袋以外の層間に充填される現象）を防ぐため、以下のことにご注意ください。

① 開口吸盤について（位置／吸引圧／開口のタイミング）

袋口からの開口吸盤までの距離は機械メーカーが推奨する距離として下さい。

適切に開口するためにはできるだけ開口吸盤を袋口に寄せてください。

袋口から開口吸盤までの距離が離れるほど、開口動作時に袋口が内向きに“おじぎ”した状態になります。その状態ですと降りてくる拡張ホッパーが袋口を押し込んだり、袋を落としたりする恐れがありますのでご注意ください。

（次ページ イラスト①参照）

開口吸盤の吸引圧強弱、開口タイミングはご使用になる袋に合わせて調整ください。

拡張ホッパーから袋へ適切に充填されるために吸引圧の強弱調整と開口タイミングの管理にはご注意ください。特に吸盤の更新時には吸引圧強弱の変化にご注意ください。

※吸盤の状態については自動包装機のマニュアルに従い適宜確認をお願い致します。

② ポリエチレン内袋について

無添加のポリエチレン内袋の使用は推奨致しません。

ポリエチレン内袋は密着（ブロッキング）する場合があります。特に無添加のポリエチレン内袋は密着しやすいため、開口ミスに繋がる恐れがあります。

また稀にポリエチレン内袋と紙の接着部分がはがれ、層間充填してしまう事例が過去発生しております。お客様での充填時には気付かず、エンドユーザー様が開封して初めて発見される事例も報告されております。

（次ページ イラスト②参照）

無添加のポリエチレン内袋を選択されてご使用になる場合は取り扱いに充分にご注意ください。

③ 未使用紙袋の保管について

長期間の保管、パレット二段積み等の荷重を避けて下さい。

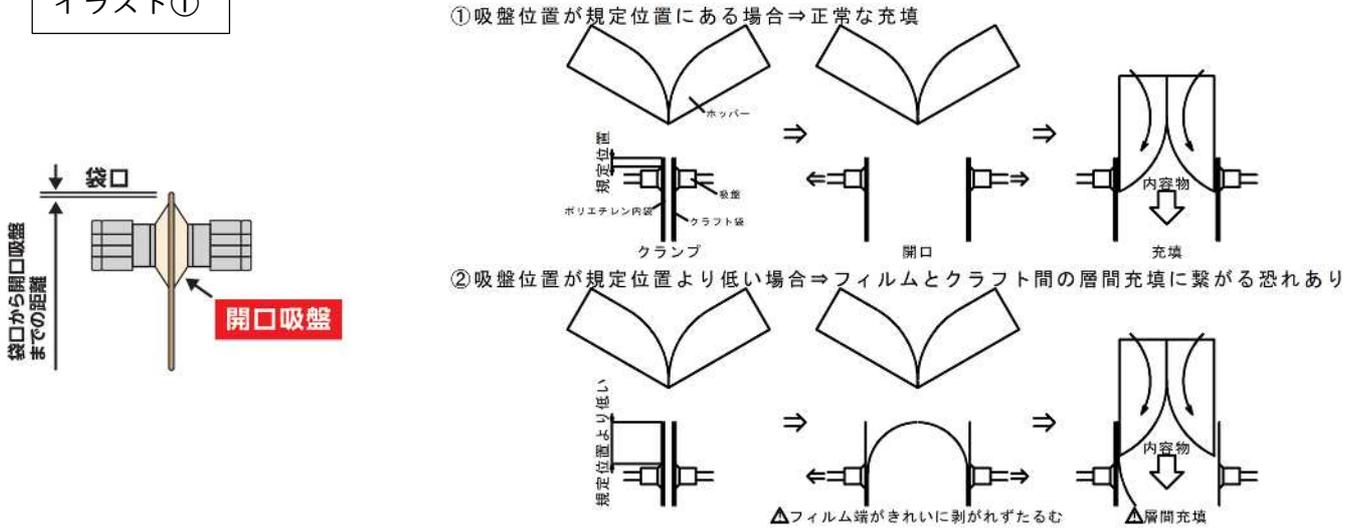
長期保管、パレット二段積みなど荷重がかかった状態での保管、高温下での保管など未使用紙袋の保管環境によってはポリエチレン内袋が密着（ブロッキング）してしまい層間充填に繋がる恐れがあるため、未使用紙袋の保管環境には充分にご注意願います。

※当工業組合 HP（<https://www.kraftkoukumi.jp/publics/index/30/>）の「紙袋保管・使用の環境ご注意」「袋をご使用になるお客様へ」をご参照ください。

※層間充填予防の事例について

層間充填を回避するための検出センサーを設置して防止されているお客様もございます。お客様の管理範囲となりますが、設置をご検討される場合は自動包装机メーカーへお問い合わせお願い致します。

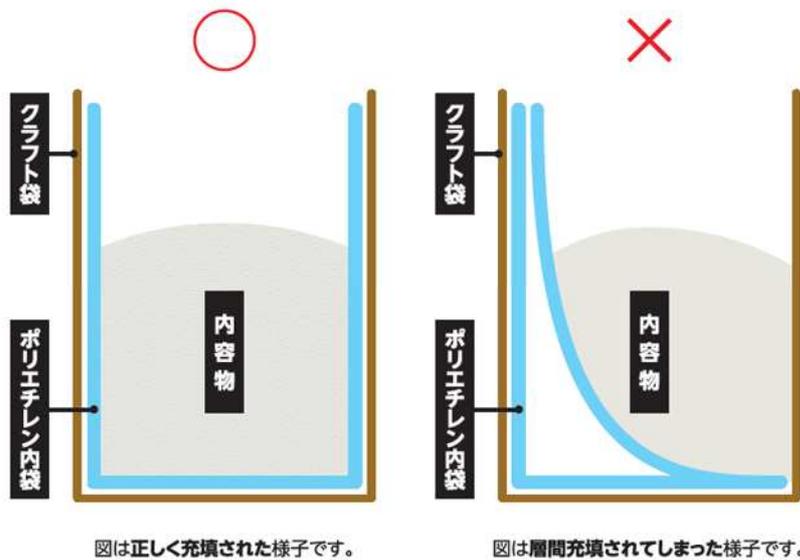
イラスト①



イラスト②

層間充填とは
本来充填される場所と違う、
層間に充填された状態です。

右図はポリエチレン内袋と
クラフト紙の間、層間に
充填された状態です。



以上